プレスリリース

2024-07-01

# engconが日本で協定締結

**チルトローテータの世界的な大手メーカーであるengconは、日本で2つの重要な協力協定を締結しました。この契約の目的は、日本市場への商品投入をさらに進めるとともに、販路を拡大することです。これは、業界の市場リーダーであり続けるというengconの野心に完全に一致しています。**

1つ目の協力協定は、ボルボのディーラーおよびディストリビューターであり、市場知識とイノベーションへの関心が高い山崎マシーナリー株式会社とのものであり、より大きなネットワークと製品知識の向上を通じて、日本でチルトローテータをより広く導入することを目的としています。

2つ目の協定は、日本の掘削機ディーラーであり、ソーシャルメディアで多くのフォロワーを持つ株式会社G.Tresとのもので、これによりengconの製品が日本市場でさらに広く露出されることになります。

– 「日本におけるアクティブなインフルエンサーであるG.Tresと協力することで、ソーシャルメディアを通じてengconとチルトローテータへの関心と認知度を高める機会を得ることができます」とengcon GroupのCEOであるKrister Blomgrenは言います。「また、エンドカスタマーと直接連絡を取り、チルトローテータを活用することでいかに燃料を節約し、より効率的に作業できるかを簡単に説明することもできます」と同氏は続けます。

日本は年間約6万台の掘削機が販売される大きな市場ですが、チルトローテータとその利点についての認知度は低い状況です。これをengconが今後変えていきます。engconは、2018年から神戸製鋼所との協力を通じて日本で事業を展開しています。新しい協力協定によって、日本国内で成長するための全く新しい機会が開かれます。

- 「これらは私たちにとって戦略的に重要な2つの協定です。engconは日本に対して大きな野心を持っており、同国内でのチルトローテータの割合は低いため、私たちの製品には大きな可能性があると考えています」とKrister Blomgrenは述べています。「このように重要な2社のパートナーとの提携により、engconはその地位を強化しています。同パートナーの日本市場に関する知識と製品知識は私たちにとって非常に貴重なものです。共に、掘削の世界を変えていきます」と同氏は続けます。

この協力契約は、ストロムスンドで行われた正式な式典で署名され、日本からの大規模な代表団が出席しました。

**詳細については、以下にお問い合わせください。**

Krister Blomgren, CEO

krister.blomgren@engcon.com

+ 46 [0]70 529 92 65

**engcon**は、掘削機の効率、柔軟性、収益性、安全性、持続可能性の向上を実現するチルトローテータと関連機器の大手グローバルサプライヤーです。弊社では、知識、コミットメント、そして高いレベルのサービスにより、400名以上の従業員が顧客のために成功を生み出しています。engconは1990年に設立され、スウェーデンのストロムスンドに本社を置き、14の現地販売会社と世界中の再販業者ネットワークを通じて市場にアプローチしています。2023年の純売上高は約19億スウェーデンクローナでした。engconのB株はナスダック・ストックホルムに上場しています。

詳細はこちら：**www.engcongroup.com**